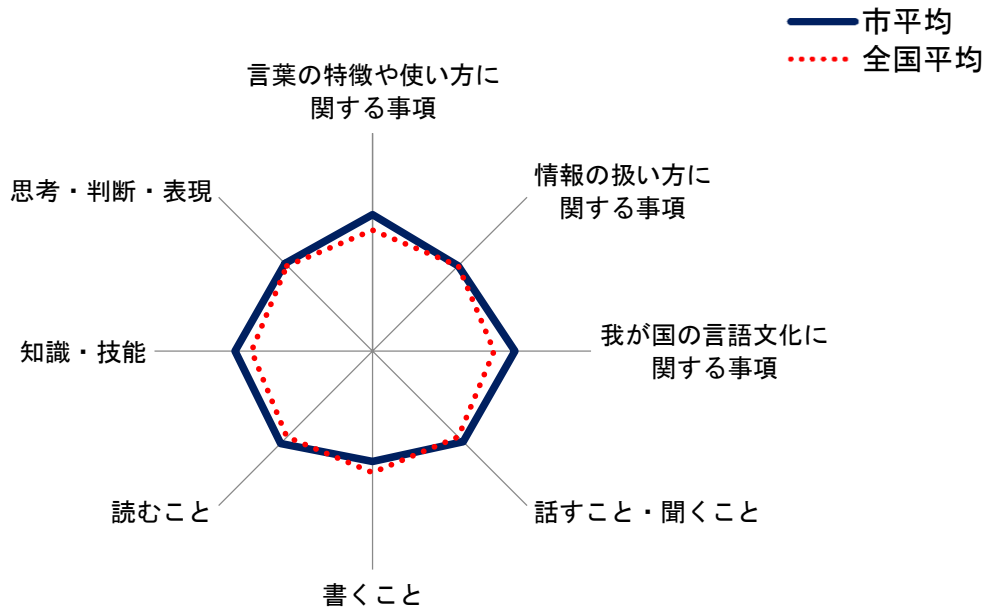
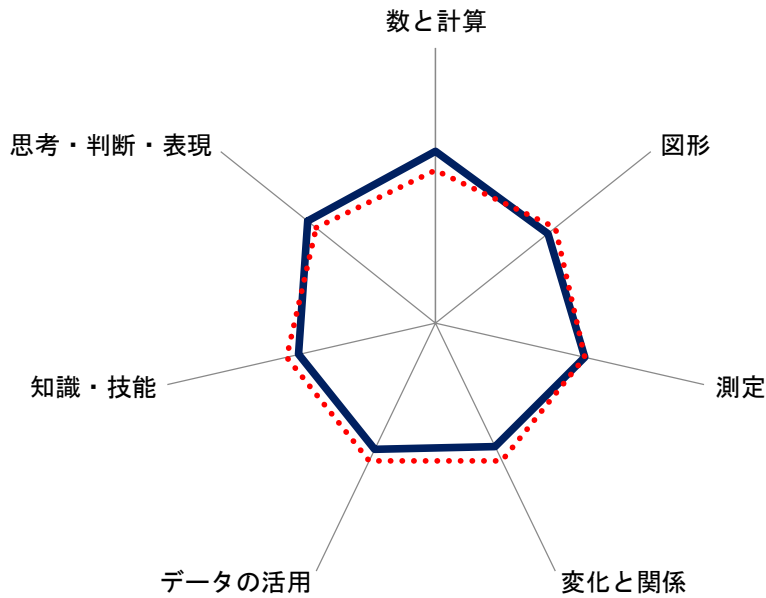


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

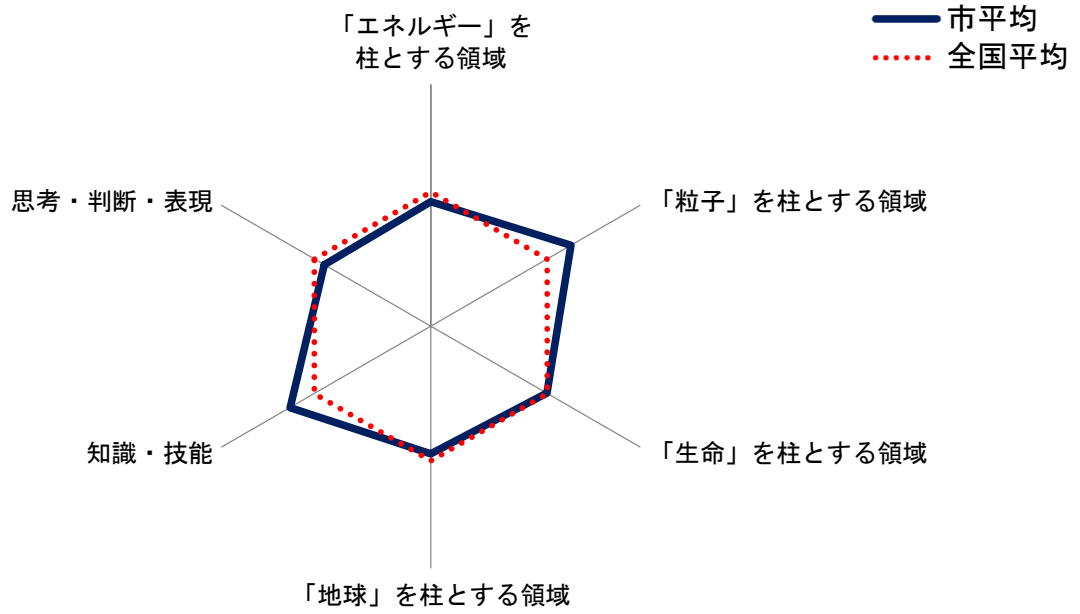


【算数】

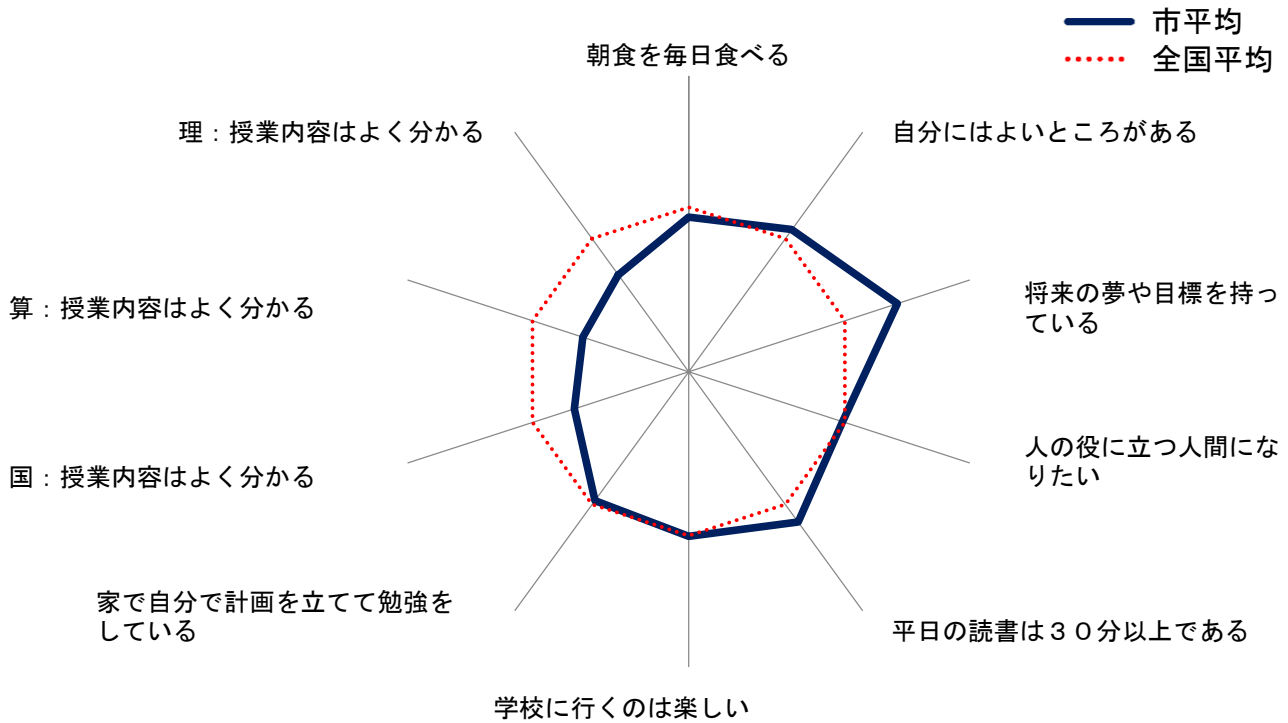


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語は、ほとんどの項目が全国平均を上回っており、良好な結果となっている。一方、算数は、「思考・判断・表現」の項目は全国平均を上回っているものの、「知識・技能」の項目は下回っており、課題が見られる。児童一人一人の課題をしっかりと分析することにより、知識及び技能の確実な定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」の項目が、全国平均を大きく上回っており、キャリア教育が継続して行われている成果が見られる。一方、各教科の「授業内容はよく分かる」の項目は全国平均を下回っており、今後、児童にとって「楽しい授業、分かる授業」になるよう、積極的にICTを活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善をより一層推進することが望まれる。